

実態把握

東京学芸大学附属養護学校 富岡康一

1 実態把握一般について

- ・実態把握は服のサイズを測ることと似ている。ちよどの服は着心地が良く、やる気になる。大きめの服を着せようとしても意味はない。「ホントはできるのよ！」は子どもにとって大迷惑。
- ・実態把握する側面
発達段階、偏り、障害に対する理解、性格傾向、気質、興味関心、好き嫌い、得意不得意 etc...
- ・実態把握のいろいろ
書類からの情報収集 = 知的発達段階、障害種別、コミュニケーション、興味関心、好き嫌い 等
行動観察の観点 = 呼びかけに対する反応、階段昇降、描画、遊び
テスト = 「標準化」されている。「限界」がある。何を測定しているのか理解してテストを選ぶ。
複数のテストを組み合わせる。
音声言語の理解力 = L D T - R
視覚と運動の協応力 = T O B (鳥の絵課題)
社会性 = S M 社会生活能力検査
- ・年齢に応じた実態把握の考え方
発達全般を測定するのは幼児・小学生が中心。中から高は発達以外の要素もクローズアップ。

2 LDT-R (Language Decoding Test-Revised 言語解読能力テスト - 改訂版)

- ・検査器具・用紙 = 自分でそろえる。検査時間は5分前後。結果に対する指導プログラムがある。
- ・簡便で実用的 コストパフォーマンスが高い。結果(Stageいくつ)の解釈には習熟が必要。
- ・シートの拡大、色つけ、枠囲み、切り分け、擬音、動作、全部NG。
- ・検査の詳細は書籍参照。
LDT-R 1、2 日本語の音声言語の理解力を測定。
LDT-R 3 大きい小さいという言葉の意味と比較の軸の移動ができるかを測定。
隠した手の上から指さすのは軸の移動ができていない。
LDT-R 4 空間関係を表すことばの理解力を測定。
- ・各 Stage の特徴
Stage 物に名前があることがわからない。
Stage ラベリングで物の名前を理解。 その日本語、通じてますか?
Stage -1 物の名前や身近な動詞がわかる。
Stage -2 比較の概念がわかる。 -2 からようやく集団指導がしやすくなる。
Stage 身近なことは ことばで理解できる。

3 鳥の絵課題 (Task of Bird、TOB)

L D T で言葉の側面をとらえ、鳥の絵課題で目と手の使い方をとらえる。東京都立南大沢学園養護の立松英子先生が開発中のもの。市販されていない。検査の詳細とシートの入手は以下のサイトから。
<http://www.h5.dion.ne.jp/~kiso/eikotorinoe.html>

4 L D T - R 3 と鳥の絵課題を組み合わせる

B、C 群は発達が不均衡なことに配慮する。

- ・B 群 = 「不器用」な人たち
基本的に「言葉がわかる」のに、ボタンがとめられない場合がある。「できるくせにやらない」のではない。
- ・C 群 = 「外国人」な人たち
着替えや作業がよくできるのに、「指示が通らない」場合がある。「わかっているのにやらない」のではない。

LDT - R3 と TOB の通過状況による4群分け

		LDT - R3	
		通過	不通過
T O B	通過	A	C
	不通過	B	D

各課題は発達年齢3歳とそれ未満を分ける

<まとめ>

- ・アセスメントは、「良い加減」のさじかげんをするための貴重な情報源。
- ・お互いが楽になるように、有効なアセスメントをしましょう。